

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に福島県内の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」21.0千人、「外来」108.6千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」21.0千人について、施設の種類の別みると「病院」20.3千人、「一般診療所」0.7千人、性別にみると「男」9.9千人、「女」11.1千人、年齢階級別にみると「65歳以上」13.8千人、「75歳以上」9.9千人となっている。

「外来」108.6千人について、施設の種類の別みると「病院」25.9千人、「一般診療所」64.6千人、「歯科診療所」18.1千人、性別にみると「男」48.4千人、「女」60.2千人、年齢階級別にみると「65歳以上」46.2千人、「75歳以上」26.1千人となっている。（表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人)

平成24年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	21.0	20.3	0.7	108.6	25.9	64.6	18.1
男	9.9	9.7	0.2	48.4	12.2	27.8	8.3
女	11.1	10.6	0.5	60.2	13.7	36.8	9.7
0 ～ 4歳	0.3	0.3	0.0	7.1	0.8	6.1	0.3
5 ～ 14	0.2	0.2	-	7.5	0.7	5.6	1.2
15 ～ 24	0.3	0.3	0.1	4.0	0.8	2.4	0.8
25 ～ 34	0.7	0.6	0.1	7.3	1.4	4.4	1.4
35 ～ 44	0.9	0.9	0.0	8.6	2.0	4.6	2.0
45 ～ 54	1.4	1.3	0.0	10.5	2.7	5.1	2.6
55 ～ 64	3.3	3.2	0.1	17.4	4.6	9.5	3.4
65 ～ 74	3.9	3.8	0.1	20.0	5.4	11.0	3.6
75 ～ 84	5.6	5.5	0.1	19.1	5.4	11.5	2.2
85 歳以上	4.3	4.1	0.1	7.0	2.2	4.3	0.6
不 詳	0.0	0.0	-	0.2	0.0	0.2	-
(再 掲)							
65 歳以上	13.8	13.4	0.3	46.2	13.0	26.8	6.4
70 歳以上	12.0	11.7	0.3	36.8	10.5	21.9	4.4
75 歳以上	9.9	9.6	0.3	26.1	7.6	15.8	2.7

注：平成20年及び平成23年患者調査の数値は、16頁の参考表1に掲載している。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院患者では多い順に、「V 精神及び行動の障害」4.8千人、「IX 循環器系の疾患」3.4千人、「II 新生物」2.6千人となっている。

外来患者では多い順に、「XI 消化器系の疾患」17.5千人、「IX 循環器系の疾患」14.3千人、「X 呼吸器系の疾患」14.1千人となっている。（表2、統計表）

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数

平成24年10月

傷病分類	入院			外来			
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	21.0	20.3	0.7	108.6	25.9	64.6	18.1
I 感染症及び寄生虫症	0.2	0.2	-	2.1	0.5	1.6	.
結核 (再掲)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	.
ウイルス肝炎 (再掲)	0.0	0.0	-	0.2	0.2	0.1	.
II 新生物	2.6	2.5	0.1	4.0	2.8	1.2	.
胃の悪性新生物 (再掲)	0.3	0.3	-	0.4	0.4	0.0	.
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	0.3	0.3	-	0.4	0.4	0.0	.
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	0.1	0.1	-	0.1	0.0	0.0	.
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	0.3	0.3	-	0.2	0.1	0.1	.
乳房の悪性新生物 (再掲)	0.1	0.1	-	0.4	0.4	0.0	.
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.1	0.1	-	0.3	0.2	0.2	.
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.6	0.5	0.0	5.6	1.8	3.8	.
糖尿病 (再掲)	0.3	0.3	0.0	3.1	1.2	1.9	.
高脂血症 (再掲)	0.0	0.0	-	1.8	0.3	1.4	.
V 精神及び行動の障害	4.8	4.8	-	5.1	2.5	2.6	.
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	0.5	0.5	-	0.2	0.1	0.0	.
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	3.2	3.2	-	1.6	1.1	0.5	.
VI 神経系の疾患	1.7	1.6	0.0	2.6	1.0	1.6	.
アルツハイマー病 (再掲)	0.6	0.6	-	0.5	0.3	0.2	.
VII 眼及び付属器の疾患	0.1	0.1	-	4.3	0.9	3.4	.
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.1	0.1	-	1.3	0.2	1.2	.
IX 循環器系の疾患	3.4	3.3	0.1	14.3	4.3	10.0	.
高血圧性疾患 (再掲)	0.1	0.1	-	10.2	2.1	8.2	.
心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	0.9	0.8	0.0	2.3	1.3	0.9	.
脳血管疾患 (再掲)	2.2	2.2	0.0	1.2	0.7	0.4	.
X 呼吸器系の疾患	1.6	1.5	0.1	14.1	1.8	12.3	.
喘息 (再掲)	0.1	0.1	0.0	3.3	0.5	2.8	.
X I 消化器系の疾患	1.3	1.2	0.1	17.5	1.6	2.1	13.8
う蝕 (再掲)	0.0	0.0	-	3.7	0.1	-	3.6
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.0	0.0	-	5.5	0.1	0.0	5.4
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	0.2	0.2	0.0	1.8	0.6	1.2	.
肝疾患 (再掲)	0.1	0.1	-	0.5	0.2	0.3	.
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0.2	0.2	-	3.6	0.4	3.2	.
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.9	0.9	0.0	12.2	2.0	10.2	.
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	0.8	0.8	0.1	6.6	2.4	4.2	.
X V 妊娠、分娩及び産後	0.3	0.2	0.1	0.4	0.2	0.2	.
X VI 周産期に発生した病態	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	.
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.1	0.1	-	0.1	0.1	0.0	.
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.3	0.3	0.0	1.2	0.5	0.6	.
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.6	1.6	0.0	3.7	1.1	2.5	0.0
骨折 (再掲)	1.0	1.0	0.0	1.1	0.4	0.7	.
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.2	0.1	0.1	9.6	1.6	3.8	4.2

注：平成20年及び平成23年患者調査の数値は、17～20頁の参考表2に掲載している。

(3) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は1.8千人であり、「65歳以上」が1.4千人となっている(表3)。

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位：千人)

平成24年10月

年齢階級	推計外来患者数 総数	在宅医療(再掲)			
		総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	108.6	1.8	0.5	0.7	0.6
0～14歳	14.6	0.0	0.0	0.0	-
15～34	11.2	0.1	0.1	0.0	-
35～64	36.4	0.3	0.2	0.1	0.1
65歳以上	46.2	1.4	0.2	0.6	0.6
(再掲)					
70歳以上	36.8	1.4	0.2	0.6	0.6
75歳以上	26.1	1.3	0.2	0.6	0.5

注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「在宅医療」とは、外来の種別が「往診」「訪問診療」「医師・歯科医師以外の訪問」で受診したものをいう。

3) 平成20年及び平成23年患者調査の数値は、21頁の参考表3に掲載している。

(4) 来院時の状況

来院時の状況を見ると、救急の受診による推計患者数は、「入院」4.4千人(入院総数に対する割合21.1%)、「外来」0.6千人(外来総数に対する割合0.6%)となっている。

また、救急の受診の内訳をみると、救急車により搬送された推計患者数は、「入院」2.3千人(入院「救急の受診」に対する割合51.2%)、「外来」0.2千人(外来「救急の受診」に対する割合25.9%)となっている。(表4)

表4 来院時の状況別にみた推計患者数

平成24年10月

来院時の状況	推計患者数(単位：千人)		構成割合(単位：%)	
	入院	外来	入院	外来
総数	21.0	90.5	100.0	100.0
通常の受診	16.6	90.0	78.9	99.4
救急の受診	4.4	0.6	21.1 (100.0)	0.6 (100.0)
救急車により搬送	2.3	0.2	(51.2)	(25.9)
徒歩や自家用車等による救急の受診	2.2	0.4	(48.8)	(74.1)

注：1) 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まない。

2) 「救急車により搬送」とは、救急車で搬送され受診したものをいう。

3) 「徒歩や自家用車等による救急の受診」とは、徒歩や自家用車等で来院し、救急で受診したものをいう。

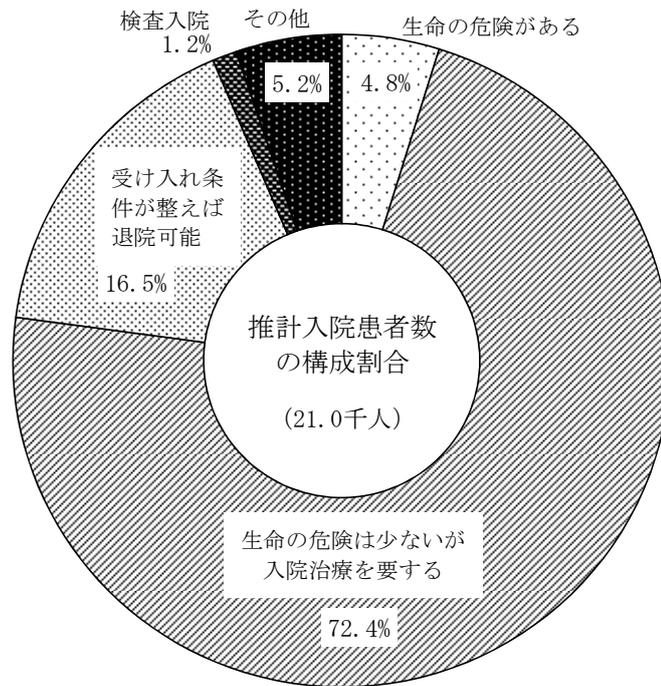
4) 平成23年患者調査の全国の数値は、21頁の参考表4に掲載している。

(5) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況をみると、「生命の危険がある」4.8%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」72.4%、「受け入れ条件が整えば退院可能」16.5%、「検査入院」1.2%となっている（図1）。

図1 入院(重症度等)の状況別にみた推計入院患者数の構成割合

平成24年10月



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
6) ()内は、推計入院患者数である。
7) 平成23年患者調査の全国の数値は、22頁の参考表5に掲載している。